

「自分が変われば、相手も変わる。」 一緒に受けたほうが手っ取り早い

青木直子さん 青木秀夫さん

(静岡市)

昨年、若い夫妻が揃って1年間講座を受けた——という情報が。若くて、しかも二人で？ なぜ？ これは取材せねば、ということと青木さん夫妻を追ってみました。

謎？の「青木さん夫妻」は、静岡市内で4歳と2歳の子育て真っ最中。

妻・直子さんが、広報紙に「男女共同参画ナビゲーター養成コース」という文字を見つけ「今度は、一緒に受けてみたらいいかも」と思い、夫・秀夫さんを誘ったといひます。

実は、以前住んでいた愛知県瀬戸市で開催された「女性セミナー」に、直子さんだけ参加したことがありました。「当時の私は、仕事を辞め結婚、そして出産。言葉ではうまく表現できないけれど、毎日なんだか、いやーな気持ちで過ごしていました。そんな時に女性セ

ミナーに出会い、この原因がわかったような、解決できる方法を見つけたような気になりました。新鮮でした。それで今回は、その先を学んでみたかった」

一方、秀夫さんの仕事はバスの運転手。事前に年間スケジュールが組まれるため、講座の日にあわせ休暇を申請できました。秀夫さんは「あんまり深く考えてなかったんですよ。全部出なくともいいという話だったから、それじゃ、と。終わってみれば二人とも皆勤でした。ん？競つてた？」と苦笑します。

難しかったねー

修了後の感想は、「難しかったので、ホッとしたり」と顔を見合わせて笑います。しかし同時に「次も何か受けたらいいと思った」というのが頼もしい限り。自分の考えをキチンと表現したいと思ったので、今年は静岡市のディベート講座を二人揃って受講。

「近い将来、またあざれあで次のステップに進めたらいいね」と話す二人です。

普段の生活にも変化があったとか。

「以前の彼は、家事に協力している“って感じだったが、”家事をしている“に変わってきた」と微笑む直子さん。秀夫さんも「何でもやる父親を見て育ってきたので、結構自分ではやっているつもりでしたが、よりかわるようになりました。」男らしく、女らしく“というのも全く考えませぬね」

直子さんも「うちの子は女だから、サッカーはできない、っていう人に対して、そんなことないですよ、女の子だってサッカーできますよ！って励ましたりやつたり(笑)」

「見えない部分」の向上にがんばりたい

さらに直子さんは、最近子供が生まれた採用部門に所属する上司(男性)に「育児休暇をぜひ取ってくださいね」とお願いしているそうです。「制度自体はあるのですが、男性の取得者はゼロ。就職希望の女子学生が本当に知りた

前後はどれくらい休めるかとかの”見えない部分”なんですよ。良い人材に長く働いてもらいたいじゃないですか。当の採用担当者が育児休暇を取得しているって、いいと思いませんか？ぜひ、その方に第一号になってもらいたいと思います」

* * * * *

実は取材の翌週、教育に関する資格試験をこれまた二人揃って受験されるということでした。性格の似た夫婦はよく聞きますが、努力する姿が重なる夫婦はそう多くありません。自然体で、柔らかく励まし合っていく「さわやか」な二人に、新しい時代のパートナーシップスタイルを感じました。また、あざれあで会いましょう！





すべての人が自由で平等な 地域社会をつくるために

静岡県立大学助教授



犬塚 協太 さん

心と仕組みを 変えよう

一九九九年に「男女共同参画社会基本法」が施行されるまで、男女共同参画を推進する政策は心を変えること、意識改革や啓発にウエイトが置かれていました。

犬塚さんは、平成七年からあざれあの講座で講師を務め、最近では、県内市町村の男女共同参画基本条例や基本計画の策定にかかわっています。

「あざれあで受講生たちから、家族や女性問題に関する生の声を聞いたことは、文献に閉じこもりがちだった研究生活に現実との接点を与え、研究対象を広げるきっかけになった」という犬塚さんに、男女共同参画推進の拠点として、これからのあざれあの役割と、男女共同参画の方向について語ってもらいました。

最近の少子高齢化や長期不況という社会状況のなかで、女性の能力を活用したり男女がともに働きやすく仕事と家庭生活を両立できる社会を作ることが一番重要だと、ようやく気づかれてきました。そのために、社会の制度や慣行、社会システムのあり方といった仕組みから、まず変えていこうという流れもできました。心と仕組みの両方を変えていくことが必要なのです。

しかし、同時に私たちは女性の人権を守り、すべての人が自由で平等であ

る社会を作っていくことが、男女共同参画社会をつくる真の目的であること、決して忘れてはならないと思います。

女性センターから男女 共同参画センターへ

男女共同参画に関わる施策は、あらゆる分野にわたっています。行政の個々の部署が出す施策は、切り離されたばらばらのものではなく、男女共同参画社会を作るための一連のものとして取り組まれ、男女すべてにかかわっています。県民側からするとあざれあには、そうした諸施策を推進する拠点として大きな期待が寄せられているということになると思います。また、県民からの要望や情報を吸い上げ、行政と県民の日常生活をつなぐ核となっ

て動いて欲しいと思います。

あざれあは、これまで女性センターとして学習、意識啓発、情報提供という分野で、十年間継続して事業を行い、女性自身が自らの生き方を見直す気づきの機会を広げてきました。その積み重ねのなかで、女性の問題やジェンダーの問題に関する認知度を上げ、県民の中に裾野を広げる役割を果たしてきました。これからは新たに男女共同参画センターとして、男性の参加を増やしていく方策も考えなくてはならないでしょう。男女共同参画は、男性の問題でもあり、男女一緒に推進していくことが大切で、男性も無関心、無関係ではいられないのです。

また、男女共同参画を進めていく重要な鍵は、企業社会の男性中心のシステムをどう変えるかにもかかっています。男性への働きかけはもちろん、企業や地域と連携し、様々な機会を捉えて男性を巻き込んでいく大きな流れを、いかにつくっていくか重要な課題といえるでしょう。

一人ひとりが問題意識をしっかり持ち、地域に密着し日常生活に即した男女共同参画社会を実現できるように、県民が男女を問わず、あざれあを拠点とし、あざれあを活用していく機会がもっと広がっていくことを心から願っています。

(談)

あざれあ 探館MAP

編集スタッフが行く



「だんらん」 坂本雅子作

380人収容できる大ホール。フォーラムやコンサートなどイベントいっぱい。親子室(畳敷き)もあって子連れもウェルカム

6・7F
小・大ホール



講座がもりだくさん!!

わたしたち常連さん。おもちゃもいっぱいでしたのしいよー



こどもの部屋



「休日に来てインターネットを楽しんでいます。静かで、ここは穴場ですよ」と青島史雄さん(静岡市の会社員)。使用は無料なので、常連さんも



おいしいお茶の入れ方講習中。たくさん利用してください

ステンドグラス。何の花に見える? 「あざれあ」です



4・5F 会議室



ただいま探館中

さあさ、みなさん、このマップをごらんあれ。あざれあ名所に使いこなしのワザ、のぞけない部屋の中まで編集員が大公開。あざれあのおとっておきの活用術を一挙公開!これであなたは「あざれあ通」マップ片手に、楽しんでね。

やってみると楽しいよ



トマトを切るのが大変だな

生活関連実習室

3F 受付
団体交流室
登録すれば無料で利用できます

2F 図書室

蔵書数はなんと約4万冊。男女共同参画や女性関連の図書では県内一の蔵書です。女性の生き方を書いた随筆を読むことが多いですね



入り口にある「風の中の母子像」細谷泰茲作



アンモナイトを見つけてごらん。よく見ないと気がつかないよ!

1F
あざれあ交流コーナー
一般の人でも無料で利用できます



タテ120cm×ヨコ380cmの皮革工芸の超大作「草創の期」大久保婦久子作



受験勉強に来た高校三年生に聞きました「前に講演会に来たことがあります」「インターネットをやりに来たことがあります」「あざれあに来たのは今日が初めて、広くてきれい」



音楽室で練習中の「ムジカ・ローザ」の皆さん

BF
多目的実習室

422-8063

郵便はがき

50円切手を
お貼りください

静岡市馬淵1丁目17-1
静岡県男女共同参画センター
『ねっとわあく』編集係 行

※差し支えなければご記入ください。
(ふりがな)

〒
お名前
ご住所
TEL
FAX

市 区 町 村
都 道 府 県
番 号
丁 目

読者アンケートにご協力ください。
点線で切り取り、お手数ですが切手を貼って送ってください。
御意見・御感想も、お待ちしております。――
美術館の入場券・入場割引券をプレゼント

肝要です。統計データを全国比較すると本県の動きが鈍かったり、遅れているという数字も出ていますけれども、急いで事を任担するということもあります。ユニバーサルデザインの考え方に立脚し、本県の目指す富国・有徳が構築されて、本場に地に足がついた男女共同参画の地域が実現するよう皆様方の一層のお力添えと御奮闘を心からお願いします。

記念講演
「男女共同参画社会の実現に向けて—家庭・地域・学校・職場の取組—」

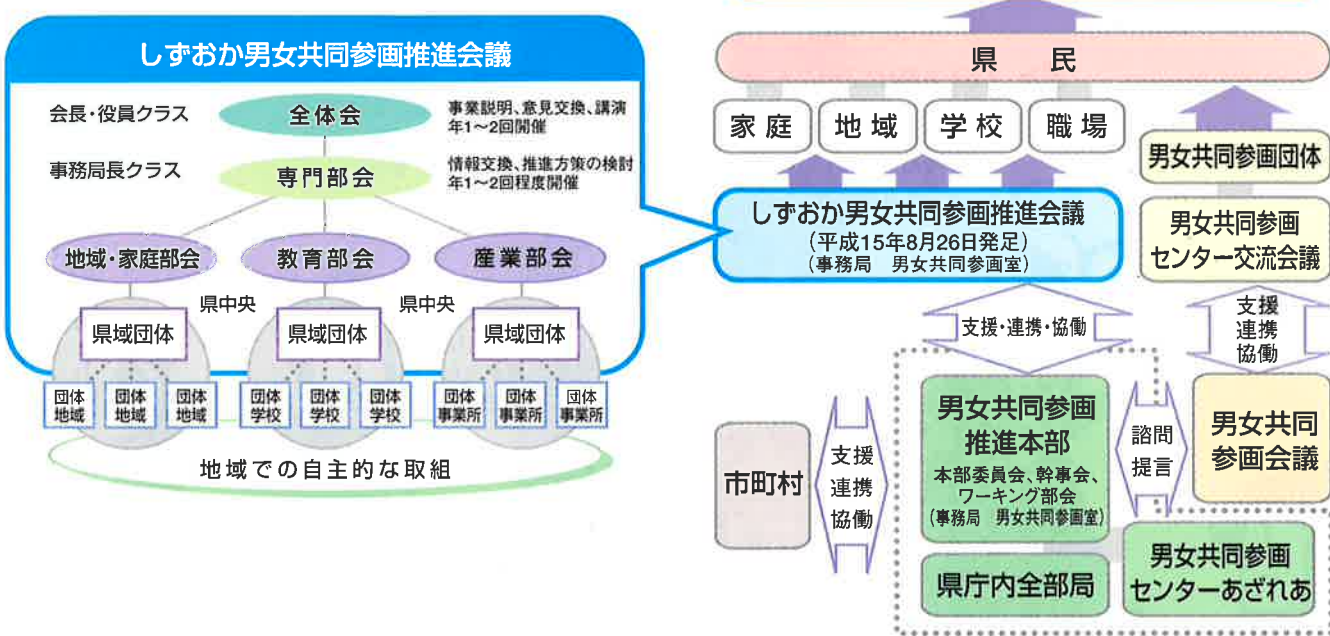
〔鹿嶋 敬・日本経済新聞社編集局編集委員〕
男女共同参画社会基本法を基に、先進国や先進自治体の取組など具体的な事例を紹介しながら、家庭、地域、企業などが抱える課題とその方策についてのお話がありました。特に、男女共同参画の取組は、トップダウン方式で進めなければ実効性があがらないことなど、各界・各層のトップの役割や推進会議の進むべき方向等についてのアドバイスをいただきました。

県は推進会議を支援していきます

県では、この推進会議や傘下団体の自主的な取組を積極的に支援していくこととしており、推進会議加入団体が男女共同参画に関する研修などを県と共催で実施する場合について、講師の派遣や会場の提供などの支援を行うこととしています。

連携・協働して男女共同参画を進めていきます！

誰もがいきいきと活躍できる男女共同参画社会の実現



しずおか男女共同参画推進会議構成団体 (部会ごとの50音順/9月末現在)

地域・家庭	(財)静岡県老人クラブ連合会	教育	静岡県PTA連絡協議会	産	静岡情報産業協会
	静岡県海外研修女性の会		静岡県立大学		(社)静岡県医師会
	静岡県子ども会連合会		静岡文化芸術大学		(社)静岡県看護協会
	静岡県コミュニティづくり推進協議会		(社)静岡県私学教育振興会		(社)静岡県経営者協会
	静岡県自治会連合会		(社)静岡県私立幼稚園振興協会		(社)静岡県建設業協会
	静岡県人権擁護委員連合会		(社)大学婦人協会静岡支部		(社)静岡県商工会議所連合会
	静岡県地域女性団体連絡協議会		(財)静岡銀行協会		(社)静岡県信用金庫協会
	静岡県男女共同参画センター交流会議		静岡県介護福祉士会		(社)静岡青年会議所
	静岡県民生委員児童委員協議会		静岡県漁業協同組合連合会		(社)静岡県トラック協会
	(福)静岡県社会福祉協議会		静岡県商工会連合会		(社)静岡県バス協会
(社)ガールスカウト日本連盟静岡県支部	静岡県森林組合連合会	(社)静岡県病院協会			
ボーイスカウト静岡県連盟	静岡県SOHO振興協議会	(社)静岡県薬剤師会			
教育	静岡県校長会	業	静岡県中小企業団体中央会	共通	商業組合 静岡県タクシー協会
	静岡県高等学校長協会		静岡県中部地区スーパーマーケット協会		特定非営利活動法人 世界女性会議ネットワーク静岡
	静岡県公民館連絡協議会		静岡県農業協同組合中央会		日本労働組合総連合会静岡県連合会
	静岡県公立高等学校PTA連絡協議会		静岡県百貨店協会		県政記者クラブ(12社会)
	静岡県国公立幼稚園PTA連絡協議会		静岡県弁護士会		静岡市長会
	静岡県私学父母の会連合会		静岡県ホームヘルパー連絡協議会		静岡県町村会
	静岡県私立幼稚園PTA連合会		静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合		
	静岡県保育所連合会		静岡県労働組合評議会		

●問い合わせ 男女共同参画室 TEL 054-221-3363

編集後記



頭の中をかたいたい言葉が渦巻いて、わたしの言葉がどこかにいってしまった。わたしの言葉を探しても、なかなか見つからない。あ〜、やっぱり本当は分かってないんだ。男女共同参画(あ、また使ってしまった)をわたし自身の言葉で語るには、水も太陽も養分も、まだまだ足りないことに気がついた夏。

静岡市 宮城島 真理

あざれあ開館と同じころに静岡県民になった私。この特集は、ゼロから出発した静岡での私の10年を見直すきっかけにもなりました。なんとなく毎日を暮らしているけれど、たまには振り返ることも大切ですね。改めて、感謝の気持ちが…。「みなさ〜ん、ありがとう!!」。そして、今回も素敵な方々にめぐり会いました。「よろしく〜!!」

焼津市 佐藤 みゆき

何だかんだとここに通って早5年。私自身も静岡ライフの根っこは「あざれあ」にあります。講座で種をもらい、素敵な仲間めぐり会い、人脈という根を生やし、心身共に幹が太くなってまいりました(笑)。来館者の固定化が気になります。私も最初は敷居が高かったけれど、丹精込めた企画とピチピチのスタッフ&たわわに実った情報がいっぱい。「食わず嫌い」しないで来てね〜。

静岡市 鈴木 美津子

書くことが好きで、トライした編集員。甘かった自分を何度責めたことか! 書くことに責任を持って臨む姿勢を、大国さん・ねっとわあくのスタッフ・編集員の仲間を見て勉強させていただきました。井の中の蛙は、ようやく井戸の堀によじ登って、身の程を知った……。今はそんな心境です。

吉田町 関野 直子

佐野修さんの「一人十色、講座を受けるたびにメンバーの色が増えてる」の話に思わず納得。お仕着せの“あざれあカラー”に染まるのではなく、お気に入りの自分の色が発見できたら、もっと若い人たちが期待して集まる楽しい場所になるはず。この秋、私も自分だけの新色を見つけよう。

静岡市 久保田 さきの

『ねっとわあく』は年2回発行(3月、10月)
県行政センター、県内女性センター、市役所、
公立図書館、公民館、文化会館などで
配布しています。

● 「ねっとわあく」は県民から公募した編集員が
● 企画編集しています。
● 編集アドバイザー／大国 田鶴子
● デザイナー／利根川 初美
● 発行／平成15年10月
● 編集／静岡県生活・文化部男女共同参画室
● 静岡県男女共同参画センター
● 住所／〒422-8063 静岡市馬淵1丁目17-1
● TEL／054-250-8107 FAX／054-255-9266

